

感じたまゝを

保母

三〇

陸に海に華々しい戦果を報導される度に皇軍にさゝげる感謝の念はいつも反撥的に自分等の受持つ職場の反省に變つて来るこの頃でござります。聖戰完遂の爲に銃後を守る一億國民の總てが同じ思ひに責任を感じ合つては居りまするものゝわけても私共保育者に課せられた責任の重大なこゝを感じ……今更ながら聲を大きくして「緊張々々」^{ミタツミタツ}と呼び度い様な氣がいたします。

皇軍の戦果が南に北に繰り擴げられて、我本土の何倍になるのやら？豫想もされない現在、やがて成人した暁、世界に廣く我大日本帝國の領民として遠く海外に發展し、又他國人の指導者たらん志す者の多く屬出するであらう將來に對してその子供等の現在がざんざに護られて生活して居るので御座いませうか、幼稚園、又は託児所に收容されて、保健に詳に心を配られて成長して居る者が日本全土の幼兒に對して何割で御座いませうか、實に考へさせられるここで御座います。多くの幼兒が最も大事な幼兒期をたゞ自然の發育のまゝに放任され、ここに都會地の子供等

は遊びに、保健に、躰に、現在では生活環境のすべてに何一つ恵まれないで過して居る者が多いのではございませんでせうか。

國を擧げて「生めよ殖せよ」と人的資源の確保に大意さなり、その爲にはいろいろの制度が新しく設けられて、母子保護法等は大いにその實シラフもあがり、安心して「國の寶」を護つて行かれるべき嬉しい時代に……幼兒教育のみぞうして義務制になり得ないので御座いませう。こゝ拾余年保育の義務制を目指してあらゆる機會に當局を「のすべつて」下さる大先輩の方々の大いなる御努力も報ひられず、今以つて異端者に見られて居るのは何に原因して居るので御座いませうか、勿論國家としては此の多事多端な折、いろいろと定むべき制度の順序もあるこゝ存じますが……

數年前に比して見れば非常に幼兒教育も普及發達して、ここに現在では都會地など社會一般の人々からは必要にさへ迫られて收容しきれぬ幼兒の處置に困る程になつたこゝは非常に喜ばしいこゝで御座いますのに、かへつて教育の

重要な位置に居られる方々の中に未だ保育效果の充分うなづけない人々の多いことを感じて幼児教育義務制の出足を引き止めて居るここの一つではないかさへ感じられ殘念でなりません。

過日もある會合で、教育の元締めともなる位置の方から「現在の幼稚園はフレーベルの意を體して創設されてから七十年、今以つて大した變化もしてゐない」と云はれました時には、「さあ、か腹が立ちまして『少し認識不足ではございませんか』」と言葉を返して見たいと思ひましたが、又心のどこかに「さうかしら?」と反省すべき餘地を求めて心を落ちつけました様な次第でござります。

考へて見れば明治、大正、昭和ご、時代を變へるご同時に保育材料の内容も、その取扱ひ方も實に非常な進歩發達をして來たことは事實でございますが……時には私共自身でさへ、なにか物足りない感じ、行き詰つた感じ……のやり場に困るここの御座います。私共でさへ「保育效果の科學的立證によつて何か安心をしたい」との氣持ちは始終繰りかへされて居りますもの……他の方面の方々に、うなづいていたダケないここのあるのは無理もないこゝへ存じます。

又あるお役人に配給のことをお願ひに出ましたところ「パパ、ママと呼ばして居る家庭の子供は配給を心配せずに

も品物は上手に手に入れて居るよ」と一言のもとにはねつけられてすぐく引きさがるやうな現在、「そう云ふ子供のが引かずかなりとも現在の幼稚園のどこかに残つて居るので御座いませんでせうか。園の經營に、保育の内容に、否保母の態度に保護者の様子に……少しでもそんな「くさみ」を感じさせるところがあるのでございませんでせうか。

小學校が國民學校と改められる時、やがては「國民幼稚園」として義務制を認められる時を想像して、いろいろと保育の内容に再検討をなし、純日本精神によつて保育の使命を果さうと各方面的調査研究が進められ、保母等の修養もして實に多くの努力が積まれて來ましたことは事實でござります。ここに大詔を奉戴して以來は我が帝國に生をうけた喜びが一日々々を感謝の氣持ちでこの保育道に精進させて下さつて居ります現在、私共の心がまへは充分新體制になり得たつもりであつても、幼児の上に表はす具體的な實踐、實行にあたつて未だ努力が足りないのでございませんでせうか。改めて反省の心要があると存じます。そして又どこかに、七十年の傳統から「ぬけきらぬ」と謂う幼稚園舊體制のぐさみが残つては居らないで御座いませんでせうか。

○幼稚園の遊具は、スベリ臺にブランコ、桟登りに太鼓橋
をきめこんで、入園當初の遊びも、満了の頃の遊びに何
の變化も與へられない……なんて心配はございません
でせうか、今の子供に要求する精神力の「がんばり」に相
當する「體力」の養成ともなる遊び場の改良は？遊びの工
夫は？

自由遊びの内にちゃんと体力を造って行けるやうは工夫したいものでござります。資材不足、人手不足の時にあたつて實に困難なこ事ではございますが。

具等は幼児の手の届かぬ棚の上に整理されて……。こんなことがまさかと思ひますけれど……。

◎充分に陶冶され得る年齢に達しながら、こざら陶冶せずにおくことを以つて個性尊重を考へて居たり、未文化

のまゝを保持させることが「幼稚園らしさ」を考へて誤つて居られる若い保姆さんは……反対に夥々考へて、所謂箸のあげおろしにまでも細か過ぎる作法の「型」を強請して居られる老人保姆さんは……

こんなことが幼稚園不必要論者の目をつけてゐるところではございませんでせうか、今までもさかく問題させましたのは保育の内容ばかりでなく、案外見當違ひなところにあつたことはいろへの折に感ぜられて残念に思つて居りましたが、ここに最近では我が子可愛さのあまりの買溜め、闇一家にはいろんなものが一ぱいあるよ」と子供等が平氣で口にする様な状態を見せられては、あらゆる方面に涉つて「母親再教育」が私共に課せられた「現代の義務」の一つと考へて、どんな方法を、考へたらよいものやら……。

草野京子氏の御退職

本郷第一幼稚園長草野京子氏（舊姓檜山）は去る八月、二十九年間の長い保育生活より御退きになられましたので、お名残りを惜しむ會が、東京市保育會の有志によって、十一月七日午後一時半より本郷第一幼稚園に於て開催せられました。參會者多數。惜しむ言葉、去られる言葉、どちらも誠に情の籠つた御挨拶にて參會者一同深い感銘を受け、和やかな會でございました。（編輯係り）